

2021年度 京都大学フィールド科学教育研究センター
公開実習「森里海連環学実習Ⅰ」
実施要項

1. 授業科目：

〔森里海連環学実習Ⅰ〕

実習の履修後に受講証を発行する。受講証にもとづく単位認定の可否については所属する大学の教務・学務担当に照会すること。なお、本実習は2単位相当としている。実習は本学学部生と合同で行い、実習期間中は本学フィールド科学教育研究センター芦生研究林および舞鶴水産実験所の宿泊施設に合宿する。実習の詳細については「**2. 実習内容**」を参照すること。新型コロナウイルスの影響により予定を大幅に変更する可能性があるため、京都市左京区の京都大学本部キャンパスに日帰りで通学できることを参加条件の一つとする。

指導教員：徳地直子・益田玲爾・坂野上なお・中西麻美・甲斐嘉晃・鈴木啓太・石原正恵・
中川 光

2. 実習内容：

京都府の北部を流れる由良川は、京都大学芦生研究林を源流とし丹波地方を流れ若狭湾西部の丹後海に注ぐ。本実習では、芦生研究林内の溪流と森林の観察、由良川に沿って上流域（森林域）から和知、綾部、福知山を經由して河口域までの水質調査、魚類や水生昆虫などの水生生物調査、土地利用様式の調査を行う。森林域、里域、農地、都市などの陸域の環境が、由良川の水質、生物多様性、食物構造などにどのような影響を与えているかをじっくり観察し、森から海までの流域を複合したひとつの生態系として捉える視点を育成する。

京都大学新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動制限ガイドライン（以下、活動制限ガイドライン）のレベルによって実習日程を変更する（2週間前の状況を目安に決定する。その後の状況次第で変更の可能性もある）。

<活動制限ガイドラインがレベル1の場合>

・宿泊は実習初日に舞鶴水産実験所で1泊のみとし、京都大学本部キャンパスで日帰りの実習を行う際は自宅あるいは各自手配した京都市内の宿泊先（ホテル等）から通うこと。

1日目：園部駅9時集合

芦生研究林、由良川源流の観察・調査 実験所で宿泊

2日目：舞鶴水産実験所 由良川中流・下流・河口域調査

公用車で西舞鶴駅16時30分解散

3日目：京都大学農学部 分析

4日目：オンライン 講義と分析

5日目：自宅 オンラインで報告会

<活動制限ガイドラインがレベル2-の場合>

- ・宿泊を伴う実習が禁止された場合は、下記の予定で日帰りの実習を行うが、その際は自宅あるいは各自手配した京都市内の宿泊先（ホテル等）から通うこと。

1日目：園部駅9時集合

芦生研究林，由良川源流の観察・調査 公用車で京都解散

2日目：京都大学本部キャンパス集合 由良川中流・下流・河口域調査 公用車で移動
公用車で西舞鶴駅16時30分解散

3日目：京都大学農学部 分析

4日目：オンライン 講義と分析

5日目：オンライン 報告会

<活動制限ガイドラインがレベル2以上の場合>

- ・実習は中止とする。

(註) 天候の影響等で実習の内容は変更することがある。

- 3. 実施施設：** 京都大学フィールド科学教育研究センター 芦生研究林・舞鶴水産実験所
京都大学本部キャンパス
※自家用車等での来所は認めません。

- 4. 実施期間：** 2021年8月5日（木）～8月9日（月）
芦生研究林・舞鶴水産実験所への移動には公用車を利用する。

- 5. 対象学生：** 学部生全年次（文系・理系を問わない）

- 6. 定員：** 2名

7. 新型コロナウイルス（COVID19）感染拡大予防：

京都大学の感染拡大予防マニュアルに従うとともに、舞鶴水産実験所の特性を考慮した対策指針に則り、今年度は特別に以下の対策のもと実習を実施する。ただし、緊急事態宣言、京都大学の方針、気象警報の発令などにより実習を中止する可能性がある。場合によっては、実習期間中であっても中止となる可能性もある。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/foundation/coronavirus/>

日程と内容：

- ・宿泊期間を短縮するため、データ解析やレポート作成は、帰宅後に各自で行う

- ・教員や TA が適宜オンラインで指導を行う

参加条件：

- ・京都市左京区の京都大学本部キャンパスに、自宅あるいは各自手配した京都市内の宿泊先（ホテル等）から日帰りで通学できること
- ・実習前2週間、健康に異常*がなく、海外渡航や COVID19 感染者との濃厚接触もないこと
（実習初日に体調管理チェックシートを提出していただきます）
*異常：発熱（平熱より高い、37.5 度以上を目安）、咳、咽頭痛、倦怠感、味覚障害等、COVID19 感染が疑われる症状
- ・実習中、健康に異常が認められた場合、当日中に家族に迎えに来てもらうことができること
- ・健康以外の理由により、キャンセルする可能性がほとんどないこと
- ・6月中旬に実施されるガイダンスに参加すること（詳細は実習参加希望者に追って連絡する）

生活様式：

- ・各自、マスクと体温計を持参する
- ・体温を1日1回測定して異常が認められた場合はその日の担当教員に報告する
- ・食事は個別にとる
- ・宿泊棟の部屋やシャワーブースは一人ずつ決められた場所を使用する

8. 必要提出書類：

- ・受講願
- ・学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険証明書（領収書等のコピーでも可）

9. 申込締切：2021年6月30日（水）必着

抽選とする。

10. 参加費用：

<活動制限ガイドラインがレベル1の場合>

約1,400円（これに含まれるのは実習一日目の夕食費と一泊分の宿泊費。他の食費、交通費は各自で準備のこと）

<活動制限ガイドラインがレベル2-の場合>

0円（食費、交通費は各自で準備のこと）

11. 提出・問い合わせ先：

〒625-0086 京都府舞鶴市長浜無番地

京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所

電話：0773-62-5512 FAX：0773-62-5513

E-mail：maizuru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※ 実習への参加を希望される方はメール (maizuru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp) にて早めに受講の意思を連絡し, 担当職員から必要書類を受け取ること. 受け取った書類に必要事項を記載のうえ, 担当職員へメールを送付することで受付を完了とする. ただし, 書類は個人情報を含むため, 必ずパスワードをかけること.